

Microphones

ダイナミックマイクロフォン

YDM Series

ステージから楽曲制作・ライブ配信などへ活用できるダイナミックマイクロフォン



YDM707 B (ブラック)
YDM707 W (ホワイト)

- カスタム設計のマイクロフォンカプセルを搭載しサウンドを正確に集音
- 広い周波数帯域とクリアで繊細なサウンドを実現

YDM505
YDM505S (ミュートスイッチ付)

- カスタム設計のマイクロフォンカプセルを搭載しサウンドを正確に集音
- 力強い中高音と、やや広めの指向性を持ち、ミュートスイッチモデルもラインナップ

DM Series



DM-105 **DM-305**

- スピーチ、カラオケ、音楽用途など様々な用途に最適なON/OFFスイッチ付きダイナミックマイク

主要規格

Model	YDM707	YDM505	YDM505S (スイッチ付)
形式	ダイナミック		
指向性	スーパーカーディオイド	カーディオイド	カーディオイド
周波数特性	60 Hz - 18 kHz	60 Hz - 15 kHz	60 Hz - 15 kHz
感度	1.8 mV/Pa (-54 dB)	2.5 mV/Pa (-52 dB)	2.5 mV/Pa (-52 dB)
公称インピーダンス	300 Ω	600 Ω	600 Ω
端子	XLR	XLR	XLR
寸法・質量 (マイクのみ)	φ51×184 mm・285g	φ51×184 mm・293g	φ51×184 mm・290g
同梱品	マイクホルダー、変換ネジ (3/8 インチ - 5/8 インチ変換) ×1、マイクポーチ×1、取扱説明書 (本書・保証書付)		

Model	DM-105	DM-305
形式	ダイナミック	
指向性	カーディオイド	スーパーカーディオイド
周波数特性	60 Hz - 15 kHz	40 Hz - 18 kHz
出力インピーダンス	500Ω ±30% (1 kHz)	40 Hz - 18 kHz
端子	XLR	XLR
寸法・質量 (マイクのみ)	φ51×169 mm・220g	φ51×178 mm・325g
同梱ケーブル	5m (XLR-F type connector and 6.3mm plug)	

コンデンサーマイクロフォン

表現のすべてを忠実に捉えるクリエイターのためのコンデンサーマイクロフォン

ライブ配信に最適なライブストリーミングコンデンサーマイクロフォン

コンピューター、iPad、iPhone 経由でライブ配信やWeb会議に活用できるUSBマイクロフォン



YCM705 B (ブラック)

- カスタム設計の1インチラージダイアフラムコンデンサーカプセルを採用し感情をありのままに正確に再現する「True Sound」を実現
- ショックマウント、ポップフィルターも同梱

YCM705 W (ホワイト)

YCM01 B (ブラック)
YCM01 W (ホワイト)



YCM01U B (ブラック)
YCM01U W (ホワイト)

主要規格

Model	YCM705	YCM01
形式	1インチラージダイアフラム DCバイアスコンデンサー	バックエレクトレットコンデンサー型
指向性	カーディオイド	カーディオイド
PAD	0/-10/-20 dB、切替可能	-
ローカットフィルター	80/160 Hz、6 dB/Oct.、切替可能	-
周波数特性	20 Hz - 20 kHz	30 Hz - 20 kHz
感度	24mV/Pa (-32.5 dBV/Pa) at 1kHz, 0dB PAD 1 Pa = 94 dB SPL	14.1 mV/Pa (-37 dBV ± 3 dB) at 1 kHz, 1 Pa = 94 dB SPL
ファンタム電源	48 V / 4 mA	48 V
端子	XLR	XLR
寸法・質量	φ55×219 mm・671g (マイクロフォンのみ)、 842g (ショックマウント含む)	φ55×166 mm・0.4kg (マイクロフォンのみ)
同梱品	マイクロフォン、ショックマウント、ポップフィルター、マイクポーチ、変換ネジ (3/8インチ - 5/8インチ変換)、ショックマウント用ゴムリング (予備) ×4、取扱説明書 (保証書付)	マイクスタンドアダプター (5/8インチ規格、3/8インチ変換アダプター付) ×1、マイクポーチ ×1、5/8インチ - 3/8インチ変換ネジ (ショックマウントに取付済み) ×1、取扱説明書、Technical Specifications

Model	YCM01U
形式	バックエレクトレットコンデンサー型
指向性	カーディオイド
周波数特性	30 Hz - 20 kHz
端子	USB Type-C (USB2.0)
USB オーディオ	1 IN / 2 OUT, USB Audio Class 2.0 Compliant, サンプリング周波数: 44.1/48 kHz, 量子化ビット数: 16-bit, Type-C
機能	マイクロフォン音量調節ダイヤル×1、ヘッドホン音量調節ダイヤル×1
USB DC 電源入力	1 - Type-C、5 V DC、100 mA
寸法・質量	φ55×166 mm・0.5kg (マイクロフォンのみ)
同梱品	USB C to Cケーブル (1.5m) ×1、マイクスタンドアダプター (5/8インチ規格、3/8インチ変換アダプター付) ×1、マイクスタンド (卓上三脚タイプ) ×1、マイクポーチ ×1、はじめにお読みください (取扱説明書) ×1

CD Player

CDプレーヤー

CD-S303RK



イベント、店舗、各種施設で活用できる便利な機能「プレイモードメモリー」や「レディモード」を搭載したラックマウント型CDプレーヤー

USBメモリーによるMP3、WMA、LPCM、AAC、FLACファイル再生

フロントパネルにUSBポートを搭載し、USBメモリーに保存されたMP3、WMA、LPCM、AAC、FLAC形式のデジタル音楽ファイルを手軽に高音質で再生することができます。また、CD-R/RWディスクに記録されたファイルの再生も可能です。



ピュアダイレクト

ヤマハのAVアンプやAVレシーバーに搭載している「ピュアダイレクト」機能を搭載しています。フロントパネルもしくはリモコンの「ピュアダイレクト」ボタンを押すと、デジタル出力回路を停止するとともにディスプレイが消灯します。この動作によりノイズ干渉を最小限に抑制し、より高品位なアナログ音声出力を実現しています。



インテリジェントデジタルサーボ回路

従来のトラッキングサーボ回路では、ディスクの反りやゴミなどによるエラーを完全に克服することはできませんでした。信頼性の高いCD専用のDSP（デジタルシグナルプロセッサ）の搭載によりディスクの状態を見極め、ピックアップのトラッキングやフォーカス、スピンドルモーターの回転数を調整することで、問題を解決しています。

プレイモードメモリーとレディモード

店舗や商業施設で使用されていた電源を切っても再生モードを保持する機能「プレイモードメモリー」やイベント時に曲が終わる毎にBGM再生を一時停止する「レディモード」などの「CD-S303RK」の便利な機能も継続して搭載しており、イベントや店舗などに最適です。

高性能なD/Aコンバーター

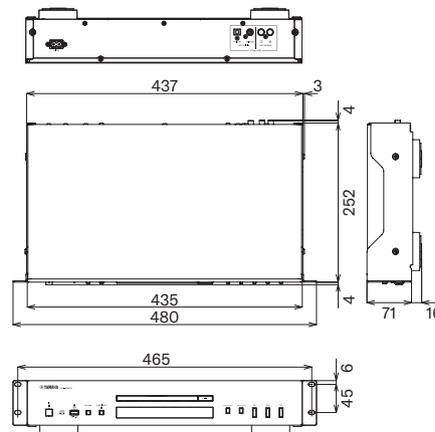
HiFiオーディオ用として定評ある高性能な192kHz/24bit対応パーブラウン高精度DACの搭載により、優れたD/A変換性能、S/N比、ダイナミックレンジを実現しています。

主要規格

周波数特性	20Hz-20kHz、+0.05/-0.15dB
高調波歪率	0.003%以下
ダイナミックレンジ	96dB以上
SN比	105dB以上
出力レベル	2.0±0.3V (1kHzdB)
音声出力端子	光デジタル×1、同軸デジタル×1、アナログRCA×1
入力端子	USBポート×1
電源電圧	100V、50/60Hz
消費電力	11W
寸法・質量	480W×87H×260Dmm・4.1kg
付属品	リモコン、単3乾電池2本、電源コード、ステレオピンケーブル、取扱説明書

寸法図

単位：mm



Cable Options

デジタルオーディオケーブル

[AES-EBU D-sub 25pin-D-sub 25pin]

YDC03A 3m **YDC05A** 5m

YDC10A 10m

●MY16-AE/MY8-AE/MY8-AE96/MY8-AE96S/
AD8HR用



バランスケーブル

[XLR-XLR]

YBC03 3m **YBC05** 5m

YBC10 10m



ラインケーブル

[XLR-メス-フォン]

YC05FP 5m



ラインケーブル

[XLR-オス-フォン]

YC05MP 5m



ラインケーブル

[フォン-フォン]

YC03PP 3m **YC05PP** 5m

YC10PP 10m



遠隔会議用ワンストップサウンドソリューション

ADECIAシーリングソリューション



シーリングアレイマイクロフォン

RM-CGB RM-CGW

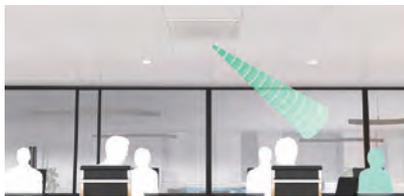
(ブラックモデル) (ホワイトモデル)

- 天井設置型マイクロフォン「RM-CG」を中心とした遠隔会議システム。
- 固定設備のため会議ごとの設置準備が不要で、遠隔会議の開催を効率化。
- 最大4本の鋭い指向性のビームが、複数話者の発言を自動検知して收音する「マルチビームトラッキング」機能。
- 卓上に配線やマイクロフォン設置が無い、すっきりした室内環境を構築可能。1台のRM-CRに対して最大16台のRM-CGを接続可能*。

*本機能は ADECIAファームウェアV3.0 以降に対応しています。

マルチビーム トラッキング

設定調整不要で話者を自動追従するビームが複数の発言を明瞭に收音。



主要規格

Model	RM-CGB / RM-CGW
サンプリング周波数	48kHz
ビット数	24bit
シグナルディレイ	58ms (Danteを除く)
周波数特性	160Hz - 16kHz (-10dB)
最大入力音圧レベル (0dBFS)	117.8 dB
信号処理	マルチビームトラッキング AEC, NR, 残響抑圧, Auto Mixer, AGC, ユーザーPEQ, 出力Gain調整
電源	PoE (IEEE 802.3af)
消費電力	7.2W
動作環境条件	温度: 0~40°C、湿度: 30~90% (結露しないこと)
寸法・質量 (突起物、レッグ、付属品含まず)	560W×90H×560Dmm・5.6kg
付属品	取扱説明書、グリル、ネジカバー、穴あけ用型紙、クリング、 コの字金具、端子カバー、安全ワイヤー、結束バンド

入出力規格

Dante	1in × 2 out
-------	-------------

コントローラー CTL-BN1

マイクミュート等に活用できるPoE駆動、有線ネットワーク接続のボタン型コントローラー。



ADECIAテーブルトップソリューション



テーブルトップアレイマイクロフォン

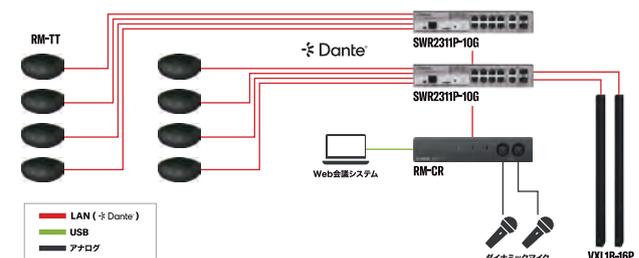
RM-TTB RM-TTW

(ブラックモデル) (ホワイトモデル)

- 規模に応じて複数のマイクロフォンを分散配置できる有線接続の卓上設置型マイクロフォン「RM-TT」を中心とした遠隔会議システム。
- ネットワークスイッチから直接ケーブルを繋ぐスター型接続で、スクール形式のテーブルレイアウトにも省配線で設置可能。
- 指向性は6種類の固定モードまたは自動モードから選択可能。
- 明瞭な遠隔通話を実現するプロセッシングをマイクロフォン毎に内蔵。
- 1台のRM-CRに対して最大16台のRM-TTを接続可能*。

*本機能は ADECIAファームウェアV3.0 以降に対応しています。

RM-TTシステム構成例



主要規格

Model	RM-TTB / RM-TTW
サンプリング周波数	48kHz
ビット数	24bit
シグナルディレイ	57ms (Danteを除く)
周波数特性	160Hz - 16kHz (-10dB)
最大入力音圧レベル (0dBFS)	106.8dB SPL
信号処理	オートボイストラッキング 選択式ボーラパターン: カーディオイド、ハイパーカーディオイド、スーパーカーディオイド、無指向性、双指向性、トロイド AEC, NR, 残響抑圧, Auto Mixer, AGC, ユーザーPEQ, 出力Gain調整
電源	PoE (IEEE 802.3af)
消費電力	4.5W
動作環境条件	温度: 0~40°C、湿度: 30~90% (結露しないこと)
寸法・質量 (突起物、レッグ、付属品含まず)	140W×41.5H×140Dmm・310g
付属品	取扱説明書、テーブルトップ取付アダプター、 マウント用ネジ×3、スプーサー×3

入出力規格

Dante	1in × 2 out
-------	-------------

遠隔会議用ワンストップサウンドソリューション

ADECIAワイヤレスソリューション

- 1.9GHz帯のDECT方式を採用した遠隔会議用ワイヤレスマイクシステム。
- マイクは、グースネックタイプと指向性の異なるテーブルトップ2種類をラインナップし、会議スタイルに合わせて選択可能。
- 専用リチウムイオンバッテリーで最大約20時間運用可能。
- Dante/PoE対応の専用アクセスポイントを使用し最大64chまで対応*。

*「RM-CR」を使用し、「RM-WAP-16」を4台接続することで、最大64本のワイヤレスマイクを接続可能です。
*本機能はADECIAファームウェアV3.0以降に対応しています。
*使用可能なワイヤレスマイクの最大数は、設置環境の電波状況により異なります。



ワイヤレス30cm
グースネックマイク
RM-WGL



ワイヤレス15cm
グースネックマイク
RM-WGS



ワイヤレス指向性
テーブルトップマイク
RM-WDR



ワイヤレス無指向性
テーブルトップマイク
RM-WOM



主要規格

Model	RM-WGL	RM-WGS	RM-WDR	RM-WOM
指向性	単一指向性			無指向性
シグナルディレイ	30ms - 35ms nominal (音声信号処理除く、High Qualityモード)、 110ms nominal (音声信号処理含む、High Qualityモード)		110ms nominal (音声信号処理含む、High Qualityモード)	
周波数特性	160Hz - 16kHz (-10dB)			
最大入力音圧レベル (0dBFS)	106.2dB SPL		100.2dB SPL	99.4dB SPL
自己ノイズ	-19.3dB SPL		-24.7dB SPL	-23.0dB SPL
SN比 (Ref: 94dB SPL at 1kHz)	113.3dB		118.7dB	117.0dB
感度	-12.2dBFS/Pa		-6.2dBFS/Pa	-5.4dBFS/Pa
ダイナミックレンジ	125.5dB		124.9dB	122.4dB
電源	充電式リチウムイオンバッテリー 3.6V 2350mAh			
バッテリー仕様	動作時間:約20時間、待機時間:約7日間、満充電:5時間、80%充電:3時間			
寸法・質量 (バッテリー含む)	89W×308Hmm×89Dmm・152g	89W×171Hmm×89Dmm・140g	89W×26Hmm×89Dmm・130g	89W×26Hmm×89Dmm・126g
付属品	取扱説明書、バッテリー (RM-WBT)			

1.9GHz帯を使用したADECIAワイヤレスソリューションのマイク用アクセスポイント。

16chワイヤレスアクセスポイント
RM-WAP-16

8chワイヤレスアクセスポイント
RM-WAP-8



壁取付用のウォールマウント金具付属

主要規格

サンプリング周波数	48kHz
ビット数	24bit
電源	PoE (IEEE 802.3af)
最大消費電力	9.6W
ネットワーク	コネクタ: RJ-45
ケーブル要求	CAT5e以上 (STP)
信号処理	Dante、リモートコントロール、Web UI、PoE 適応型エコーキャンセラー、ノイズリダクション、残響抑圧、オートゲインコントロール、パラメトリック・イコライザー、出力ゲイン調整、オートミキサー
取付方法 ^{※1}	壁、天井 (付属金具を使用)、平置
寸法・質量	171W×43H×172.5Dmm・812g (RM-WAP-16)、650g (RM-WAP-8)
付属品	取扱説明書、取付金具

マイク充電ステーション
RM-WCH-8

1.9GHz帯を使用したADECIAワイヤレスソリューションのマイク用充電ステーション。



交換用バッテリー
RM-WBT

ADECIAワイヤレスソリューションのマイク用バッテリー。



遠隔会議用プロセッサ

ヤマハが長年培ってきた音声処理技術とネットワーク市場における経験を駆使した、遠隔会議用のソリューション「ADECIA」用プロセッサ

遠隔会議用プロセッサ
RM-CR



主要規格

サンプリング周波数	48kHz
ビット数	24bit
シグナルディレイ	7ms (Dante In to USB Out、シグナルプロセッシングを含む)
周波数特性	20Hz - 20kHz
電源	PoE+ (IEEE 802.3at)
消費電力	15W
寸法・質量	215W×44H×260Dmm・1.6kg (突起物、レッグ、付属品含まず)
付属品	施工説明書、USBケーブル (A-B) 5m、USBケーブル (A-microB) 1m、ゴム足、アクセスパネル

アナログ入力規格

端子名称	入力レベル		使用コネクタ
	規定レベル	最大ノンクリップレベル	
MIC IN L, R	-46dBu	-26dBu	XLR-3-31(Balanced)
AUX IN L, R	-14dBV	+6dBV	RCA Pin Jack

アナログ出力規格

端子名称	出力インピーダンス	ソースインピーダンス	出力レベル		使用コネクタ
			規定レベル	最大ノンクリップレベル	
AUX OUT L, R	1kΩ	10kΩ	-14dBV	+6dBV	RCA Pin Jack
SPOUT L, R	1kΩ	10kΩ	-14dBV	+6dBV	RCA Pin Jack

デジタル入出力規格

Dante	16in×16out
USB	USB2.0、Audio Class 1.0 Input: 2ch、Output: 2ch @48kHz
Bluetooth	バージョン 4.2 対応プロファイル: HFP (1.6)、A2DP、AVRCP 対応コーデック: CVSD、SBC、mSBC 無線出力: Class2 最大通信距離: 10m (32.8 ft) ※障害物がないこと 無線周波数 (動作周波数): 2,402 to 2,480 MHz 最大出力電力 (EIRP): 4.0 dBm (2.5 mW)

オプション

RM-MRK
ラックマウントキット

RM-MTL
テーブルマウントキット

統合プラットフォームソフトウェア ProVisionaireシリーズ

ProVisionaire Plan

音の専門知識がなくても簡単に部屋の音響設計ができる
無料のWEBアプリケーション



ヤマハのノウハウをアプリケーションに凝縮、会議室の音響提案をもっと手軽に

音響設備の設計や提案に「ProVisionaire Plan」なら、会議室のサイズや要件を入力するだけで、「ADECIA」を使った最適な機器選定とレイアウトプランをわずか数分で作成。手軽にスピーディ、そして、効率的に高品質な会議室システムを設計・提案することができます。

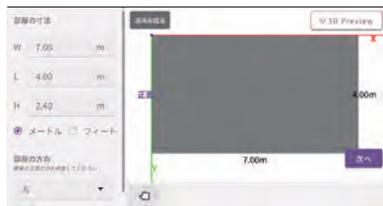
簡単な操作でシステム設計

画面上の指示に従って入力していくだけで、適した機器を自動的に選択して配置します。

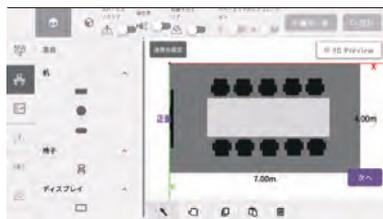
STEP 1 会議室の利用目的を指定



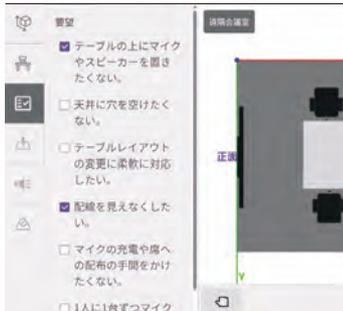
STEP 2 会議室の寸法を入力



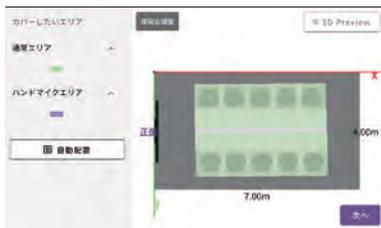
STEP 3 什器(テーブル、椅子など)を指定



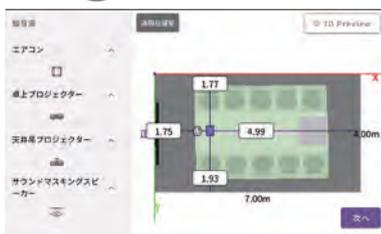
STEP 4 会議室の要件を設定



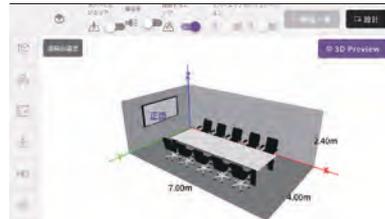
STEP 5 マイク收音が必要なエリアを指定



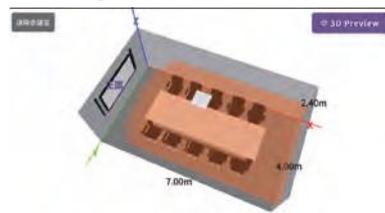
STEP 6 ノイズ発生源(空調口の位置など)を指定



STEP 7 設計を実行すると、音響機器が自動選定・配置されます。



STEP 8 マイクやスピーカーの有効な範囲も確認できます。



ビジネスの効率化にも

見積もりや提案資料作成のための
機器リストも出力できます。



ProVisionaire Plan [はこちら](#)



ユニファイドコミュニケーション

多様化する遠隔コミュニケーション手法に対応する、
仮設で持ち運び可能なスピーカーフォンラインナップ。

ユニファイドコミュニケーション
マイクスピーカーシステム

YVC-1000



8～40人規模の中大会議に最適
ハンドマイクを接続することで、遠隔セミナーでの使用も可能

主な特長

- 独自の高音質技術で快適な遠隔コミュニケーション
- フレキシブルな接続性・優れた拡張性で幅広い用途に対応
- かんたんに使える親切設計、便利機能で使い方がひろがる
- 本体（スピーカー兼コントロールユニット）1台にマイク1台を付属の標準構成
- オプションの拡張マイクを4台（合計5台）まで増設可能

オプション

YVC-MIC1000EX

YVC-1000/YVC-1000MS用拡張マイク

- YVC-1000/YVC-1000MS 付属マイク1台と拡張マイクを4台（合計5台）まで接続。部屋の規模やレイアウトにあわせて多目的に活用。



ユニファイドコミュニケーションスピーカーフォン
YVC-331 / YVC-330



YVC-331



YVC-330

4～6名程度の小規模遠隔会議に最適
騒がしいオープンスペース・静かな会議室それぞれの利用に適した2つのモードを搭載

主な特長

- 雑音の多い環境下でも快適な遠隔コミュニケーションを実現する“SoundCap”テクノロジー
- 会議室でも！卓越した音質、豊かな音量で6名程度の中規模会議に最適
- YVC-331はBluetoothレスのコストパフォーマンスモデル

オプション

YPS-USB5VJ

YVC-330/YVC-300用ACアダプター



YCBL-DC3M

YVC-330/YVC-300用

接続ケーブル



ユニファイドコミュニケーションスピーカーフォン
YVC-200



YVC-200B



YVC-200W

1～4名程度の打合せに最適
バッテリー搭載でミーティングコーナー・自宅・外出先などあらゆる場所で利用可能

主な特長

- 遠隔のコミュニケーションでも、“熱中”できる会話を実現
- 遠くにいる相手とも“スマート”に会話をスタート
- 働く空間に寄り添うデザインが、“自分らしい”働き方を演出

ビデオサウンドバー
CS-800



オープンスペースから小・中規模会議室に最適

マイク・スピーカー・カメラ一体型。
言葉、表情、熱量がそのまま伝わる。
リモートコラボレーション時代の新しいビデオサウンドバー。

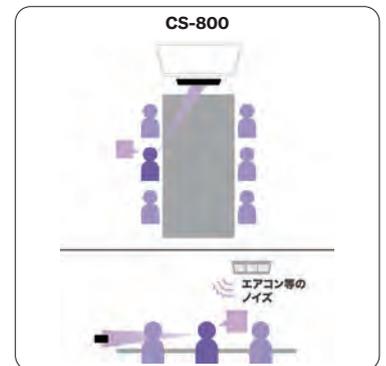
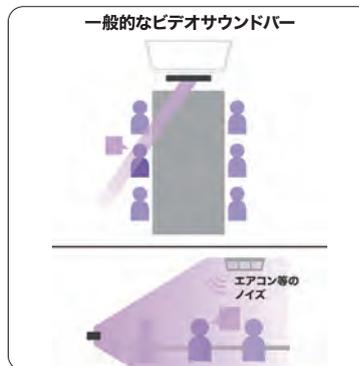
SoundCap Eyeを実現する

新開発Hexa-Microphone（ヘキサマイク）

CS-800に六角形に配置されたマイク（ヘキサマイク）は、独自のアルゴリズムで三次元のマイクビームを生成します。発話者の口元をピンポイントに捉えることで会話の声をしっかりと收音することが可能です。一般的なビデオサウンドバーと比較してより雑音のないクリアな声を相手に届けることができます。

主な特長

- 声を「見つけて」クリアに收音、オープンスペースでの遠隔会議を可能にするSoundCap Eye™
- 表情を見てスムーズなコミュニケーション、会議参加者へ自動でズームするスマートフレーミング
- 思い立ったらすぐ会議、素早く簡単に遠隔会議を開始できるEasy Launch



ミュート、各種設定用の両面リモコン付属



オプション

BRK-TV2 ★

CS-800用
TVマウントキット

MINI PC / CPU / INTERFACE / NETWORK SWITCH / SIGNAL PROCESSOR / POWER AMPLIFIER / SPEAKER / HEADPHONES / SOLUTIONS / OPTION



IMMERSIVE EXPERIENCES FOR EVERYONE

Sound xRのイマーシブ体験をすべての人へ

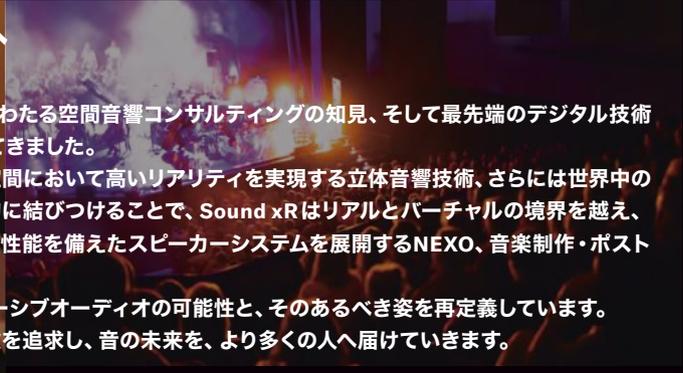
音は、人の感情を揺さぶり、空間の印象を一変させます。

ヤマハグループは、楽器製造に始まる音づくりの歴史と、50年以上にわたる空間音響コンサルティングの知見、そして最先端のデジタル技術を融合し、Sound xRというイマーシブオーディオの構想を具現化してきました。

実空間における音場制御技術「Active Field Control (AFC)」、仮想空間において高いリアリティを実現する立体音響技術、さらには世界中のクリエイターと最前線の制作現場を支える技術基盤。これらを有機的に結びつけることで、Sound xRはリアルとバーチャルの境界を越え、人を空間そのものへと引き込む没入体験を創出します。卓越した音響性能を備えたスピーカーシステムを展開するNEXO、音楽制作・ポストプロダクションの現場を牽引するSteinberg。

それぞれが培ってきた専門性と技術を結集し、ヤマハグループはイマーシブオーディオの可能性と、そのあるべき姿を再定義しています。

Sound xRは、人・環境・場所をつなぐことで生まれる新たな感情体験を追求し、音の未来を、より多くの人へ届けていきます。



バーチャルとリアルの両面から
イマーシブオーディオ空間を支える、
ヤマハの立体音響技術

Sound xRは、バーチャルとリアルの両面からイマーシブオーディオ空間を支える、ヤマハの立体音響技術です。その中核をなすのが、現実空間における音響体験を高度にデザインするリアル空間向けソリューションです。

空間固有の音響特性を生かし、音の響きや包まれ感を豊かにする音場支援システム「Sound xR Enhance」と、最大128のオブジェクト音像を自在にコントロールし、音の位置や動きを精緻にデザインする音像制御システム「Sound xR Image」。これら2つの技術が連携することで、ホールや劇場、多目的空間において、快適で高い没入感を備えたイマーシブ空間デザインを可能にします。



スケーラビリティと将来性

Sound xRは、イマーシブオーディオを一部の限られたプロフェッショナルだけのものにせず、空間制作に関わるすべての人が活用できる環境を目指しています。

入力から出力まで業界トップクラスの品質とパフォーマンスを誇るヤマハおよびNEXOの多岐にわたる製品ラインナップを組み合わせることで、ミッドレンジからハイエンドに至るまで、プロジェクトの規模や予算、将来的な拡張性を見据えたスケーラブルなシステム構築が可能です。



柔軟なワークフローを支える統合ソリューション

Sound xRのリアル空間向けイマーシブオーディオシステムは、Yamaha、NEXO、Steinbergのコラボレーションと、ヤマハ独自の立体音響技術「AFC」によって構成された統合ソリューションです。コンテンツプロダクションから、オブジェクトベースによる3Dミキシング、音場支援、システムデザイン、そして再生に至るまで、イマーシブオーディオ制作のワークフロー全体を一貫してサポートします。これにより、クリエイターやエンジニアは、制作・設計・再生の各フェーズを横断しながら、真に没入できる音響空間の創出に集中することができます。従来の枠にとらわれない新たなツールとアプローチを通じて、これまでになかった音づくりの可能性を広げます。



信頼されたプラットフォームが切り拓く、イマーシブ空間の新たな入口

Sound xRのリアル空間向けソリューションは、オープンアーキテクチャDSP「DME」を基盤として展開しています。

長年にわたり多くの音響現場で採用されてきたDMEシリーズは、信頼性と柔軟性、拡張性を兼ね備えたシングルプロセッサとして高い評価を得てきました。

その実績あるプラットフォーム上で、Sound xRは現実空間における音響制御を実現します。オープンなアーキテクチャにより、既存システムとの親和性を保ちながら用途や規模に応じた構成が可能で、将来的な拡張にも対応します。

これにより、イマーシブオーディオは特別な専用システムに限られることなく、導入コストや運用面のハードルを抑えながら、現場に合わせて段階的に導入・拡張できる、将来を見据えた音響設計の選択肢となります。

MIXER

MINI-DIGITAL-CONVERTER

NETWORK SWITCH

SIGNAL PROCESSOR

POWER AMPLIFIER

SPEAKER/HEADPHONES

SOLUTIONS

OPTION

音像制御システム



『Sound xR Image』は、空間内で音の方向をコントロールするオブジェクトベースの音像制御システムです。演劇、オペラ、コンサート、インスタレーション、イベントなど、幅広いアプリケーションにおいてイマーシブなオーディオ体験を提供します。



特長

- オブジェクトベースによる3次元での音像定位・音像移動が可能
- 32IN/16OUT, 64IN/32OUT, 128IN/64OUTのSound xR Imageを構成可能
- 洗練されたGUI上で緻密かつ迅速なオブジェクトコントロールが可能
- 任意のスピーカーセットにオブジェクト再生を割り当てるスピーカーゾーニング機能を搭載
- 外部制御のオブジェクトマッピング範囲を定義できるレンジングエリアコンバージョン機能を搭載
- アウトプットバスにPEQとDELAYを搭載*
- 低域の音像コントロールが可能なサブレンダラー (SubSpeaker Output) を搭載*

*DME10、DME7のみ



3Dリバーブ

- ・オブジェクト毎に立体的な残響を付加可能
- ・オブジェクトの位置に応じたリアルで自然な残響を生成可能
- ・6つのリバーブパターンを使用可能
- ・リバーブ成分の指向性や広がりを目視で調整可能



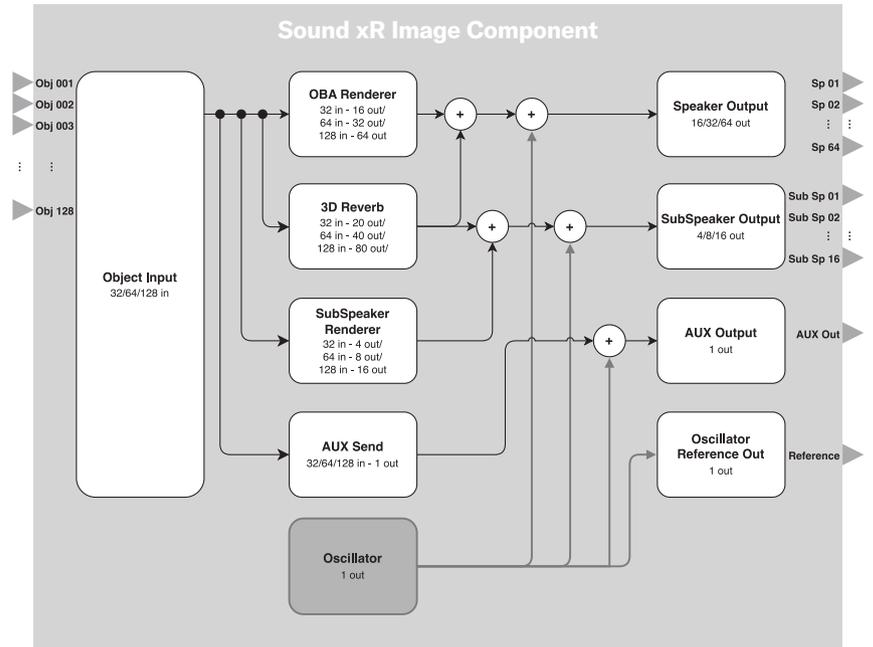
豊富なコントロールと連携

- ・OSCプロトコルによるコントロールに対応
- ・RIVAGE PMシリーズからコントロールが可能
- ・Steinberg Nuendoとのオブジェクト連携が可能
- ・トラッキングシステム等のOSCに対応した多くのサードパーティデバイスに対応
- ・NEXO NS-1によるシステムデザインとデータ連携が可能

DMEのコンポーネントとして動作

Sound xR ImageはDME10およびDME7のコンポーネントとして動作。

●システムブロック図



Product Lineup



DEK-AFC-I
拡張キット



DME7



NEXO DME10

より大規模で高度な音響空間デザインを可能にする信号プロセッサ。標準で32IN/16OUT、拡張ライセンス「NX-AFC-I」を1つ使用して64IN/32OUT、2つで128IN/64OUTのSound xR Imageを構成可能。

※詳細はP.159をご確認ください

信号プロセッサ『DME7』に音像制御システム『Sound xR Image』の機能を拡張するライセンスです。1ライセンスで32IN/16OUT、2ライセンスで64IN/32OUTの『Sound xR Image』用コンポーネントを利用できるようになります。

*ライセンスのインストールには「YAMAHA MUSIC ID for Business」へのアカウント登録と、Webサービス「ProVisionaire Cloud」を使用した、アクティベーション作業が必要です。

Sound xR on DME – SystemComponents

DMEモデルごとのSound xR Image 対応構成とコンポーネント仕様一覧

●使用可能なSound xR Image構成		0 license	1 license	2 licenses
DME7	+ DEK-AFC-I 拡張キット	Not Available		

●コンポーネント仕様		使用不可		
入力	Object Input	—	32ch	64ch
出力	Speaker Output	—	16ch	32ch
	SubSpeaker Output	—	4ch	8ch
	AUX Output	—	1ch	
	Oscillator Reference Out	—	1ch	
	プロセッシング	Object Based Audio (OBA) Renderer	—	32ch input/16ch output
	3D Reverb	—	32ch input/20ch output 1コンポーネントにつき1パターン使用可能	64ch input/40ch output 1コンポーネントにつき1パターン使用可能
	SubSpeaker Renderer	—	32ch input/4ch output	64ch input/8ch output
	AUX Send	—	32ch input/1ch output	64ch input/1ch output
	Oscillator	—	1ch output	

●使用可能なSound xR Image構成		0 license	1 license	2 licenses
NEXO DME10	+ NX-AFC-I 拡張キット			

●コンポーネント仕様				
入力	Object Input	32ch	64ch	128ch
出力	Speaker Output	16ch	32ch	64ch
	SubSpeaker Output	4ch	8ch	16ch
	AUX Output	1ch		
	Oscillator Reference Out	1ch		
	プロセッシング	Object Based Audio (OBA) Renderer	32ch input/16ch output	64ch input/32ch output
	3D Reverb	32ch input/20ch output 1コンポーネントにつき1パターン使用可能	64ch input/40ch output 1コンポーネントにつき1パターン使用可能	64ch input/80ch output 1コンポーネントにつき1パターン使用可能
	SubSpeaker Renderer	32ch input/4ch output	64ch input/8ch output	128ch input/16ch output
	AUX Send	32ch input/1ch output	64ch input/1ch output	128ch input/1ch output
	Oscillator	1ch output		

Sound xR on DME - FAQ

Sound xR – FAQ よくあるお問い合わせ



Sound xRは、リアルとバーチャルの両面から空間音響を扱う専門性の高いソリューションです。ヤマハでは、Sound xRをはじめとするプロオーディオ製品に関する疑問を解消するため、誰でも閲覧可能なFAQページを用意しています。

本FAQでは、よくあるお問い合わせを商品別に整理し、WEBサイトやカタログでは触れきれない基礎的な内容から、実践的な運用に関する情報までを掲載。購入前の機能確認から、導入後のトラブルシューティングまで、幅広いシーンでご活用いただけます。

<https://faq.yamaha.com/jp/s/global-search/AFC%20or%20Sound%20xR>



Sound xR FAQ

Sound xR - ShowCases



Sound xRは、ライブコンサートや舞台芸術、メディアアートなど、さまざまなサウンドシーンにおいてイマーシブな空間表現を実現してきました。本SHOWCASESでは、実際にSound xRが使用された事例を通じて、その表現力と可能性をご紹介します。

各事例では、Sound xRを活用したプロフェッショナルによるコメントや評価に加え、具体的なシステム構成例も掲載。空間や用途に応じた設計・運用の考え方を、実践的な視点でご覧いただけます。

<https://jp.yamaha.com/products/proaudio/afc/index.html>



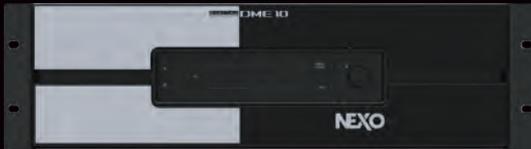
Sound xR 事例

NEXOは1979年の設立以来、パリを拠点に画期的なサウンド・リインフォースメント・ソリューションを開発してきた業務用スピーカーブランドです。先駆的なテクノロジー、革新的なデザイン、そして卓越した音響性能は、何十年にもわたり世界各地のライブイベントを支え、サウンドプロフェッショナルから高い信頼と評価を得てきました。

2008年よりヤマハグループの一員となり、ヤマハのイマーシブソリューションにおいては、直感的なシミュレーションツールと効率的なシステムデザインフローを提供。完全に統合・制御されたスピーカーおよびアンプシステムにより、高品位なイマーシブオーディオ再生を支えています。

Immersive Audio Processor - DME10

DME10



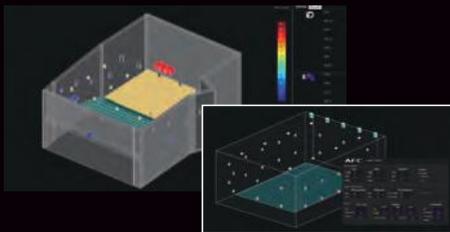
リアパネル

- ヤマハDMEプラットフォームを基盤としたオープンアーキテクチャDSP
- 標準でSound xR Image 32×16を使用可能なイマーシブプロセッサー
- Sound xR Imageライセンス「NX-AFC-I」による拡張に対応 (64×32、128×64)
- 用途に応じて複数の独立したイマーシブ構成を柔軟に運用可能
- 96kHz処理対応による高品位な音楽表現と音場設計
- 自由に選択・接続・設定可能な豊富なコンポーネント
- イマーシブ処理とスピーカー処理を単一プロセッサ内に統合
- 高いDSP処理能力により、128×64構成でも十分なリソース余裕を確保
- 標準でDante 256×256 ch対応
- 高度なEQおよびダイナミクス処理にも対応

DME10 Specifications

内部プロセッシング レイテンシー	44.1/48/88.2/96 kHz 2.7 msec (at Rio-D2 Analog In/Out with Dante latency at 0.25msec, Dante throughput on DME10)
メモリー数	Parameter sets:1000, Snapshots:10000
冷却方式	固定風速ファン×1、前面吸気
ファンノイズ	NC20 (1m from front panel)
Dante入出力	チャンネル数 256 IN, 256 OUT, リダグメント対応 サンプリング周波数 frequency 44.1/48/88.2/96 kHz 量子化ビット数 24/32 Bit
USBオーディオ	チャンネル数 8 IN, 8 OUT with SRC サンプリング周波数 44.1/48/88.2/96 kHz
入出力 コネクター	Dante etherCON×2 (PRIMARY / SECONDARY)、1000Base-T DCP RJ45×1 USB TO HOST USB 2.0 Type-C connector for USB audio USB TO DEVICE USB 2.0 Standard-A Connector for Save/Load ネットワーク RJ45×1、100Base-TX GPIO Euroblock 16 terminals (mini)×2 (GPI×16、GPO×8、+5V power supply×4) MIDI DIN 5 pin x 2 (IN、OUT) AC ACインレット (IEC、V-Lock)×2
メモリー デバイス仕様	Compatible formats File format: FAT32、FAT16、FAT12 Supported capacity Maximum media capacity: SDHC: 32 GB、SD: 2 GB Maximum file size FAT12: 32MB、FAT16: 2GB、FAT32: 4GB
ユーザーインターフェース	Front panel Rotary encoder and buttons for GUI control Operation lock feature (Full lock or Lock except volume and mute) Display 224×48 pixels、mono color with brightness adjustment 100V-240V 50Hz/60Hz
電源電圧	100W
消費電力	CR2450
内蔵電池	86.3kcal/h
熱放散	0° C to +40° C -20° C to +60° C
動作保証範囲	480W×132H×363D mm (3U)
保管保証範囲	本体: 9.5kg、本体 + 梱包 13kg
寸法	Front panel: Aluminum (Silver and black) Munsell approximate value N9 (Silver)、N2.5 (Black) Handle: Metal (black paint) RAL approximate value RAL 860-1 (Silver) + RAL790-4 (Black)
質量	セットアップガイド、電源ケーブル×2
仕上げ	ユーロブロックプラグ (16ピン、3.50mmピッチ) ×2、ケーブルフック
同梱品	DCP1V4S-US、DCP4S-US、DCP4V4S-US、DCH8 追加ライセンス NX-AFC-I
オプション (別売品)	
追加ライセンス	

Speaker System Software – NS-1



NEXO社のシステムコンフィギュレーションソフトウェア「NS-1」は、NEXOおよびYamaha製スピーカーに対応した、システム設計およびシミュレーションツールです。直感的なドラッグ&ドロップ操作と精度の高い計算処理により、3次元空間上での音圧分布の確認や、用途に応じた適切なスピーカーレイアウト設計を行うことができます。

「NS-1」で設計したスピーカーシステムの座標情報は、Sound xR Imageへ展開することが可能です。これにより、スピーカー配置設計からイマーシブオーディオ再生までを一貫したワークフローで進めることができ、現実空間における音響設計と再生の精度向上に貢献します。さらに、観客全体に対してイマーシブオーディオ体験を提供するために必要なスピーカーの数量や配置の考え方を支援する「AFC Design Assistant」機能も搭載されています。

※「NS-1」は無料でダウンロード可能です。

NEXO Systems

業界標準のポイントソースモデルから、コンパクトでパワフルなラインアレイまで、NEXOはあらゆるタイプ・規模のイマーシブアプリケーションに最適なラウドスピーカーソリューションを提供します。

